

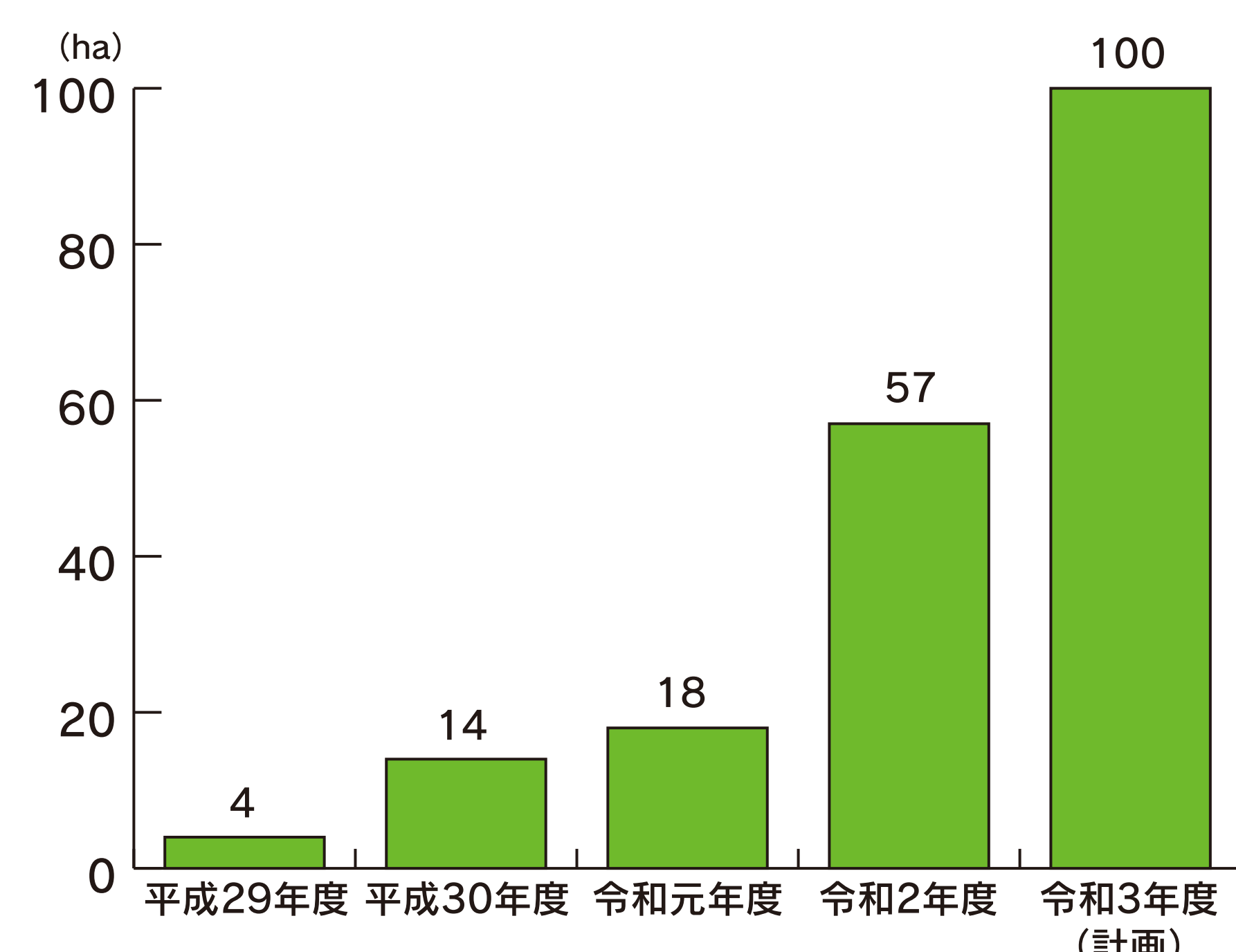
JA全農おおいたの取り組み

多収性米の推進

共働き世帯や少人数世帯の増加などによる
外食・中食の需要増に伴って、業務用米の需
要も年々増加傾向にあります。
多収性品種は穂に付く粳の数が多いので、苗
数は同じでも1反当たりの収量が主食米は
約8俵なのに対し、多収性品種では約10俵
を見込むことができます。一般的に業務用米
は主食用米に比べ取引単価が低くなります
が、こうした多収性品種の特性を生かして、
生産者の手取りを維持しながら需要に応じ
た品種への切替にも取り組んでいます。



多収性米取扱面積の推移



全農パールライス株式会社 西日本事業本部 大分営業所

事業紹介

精米事業／国産米100%。安全でおいしいお米のために万全の品質管理で製造しています。
炊飯事業／100%国産米を使用し、炊飯HACCPを取得した工場で、徹底した衛生管理のもと炊飯しています。
仕入・販売事業／お米、ご飯を様々な量販、外食店等様々なシチュエーションに併せ販売しております。

施設紹介

精米工場／全農パールライス株式会社 西日本事業本部 福岡支店 福岡工場(福岡県筑後市)
稼働開始:2020年12月1日稼働 精米能力:14,256トン/年(換算数を記載)
炊飯工場／全農パールライス株式会社 西日本事業本部 福岡支店 大分炊飯工場(大分県由布市庄内町)
炊飯能力:1,100トン/年(換算数を記載) 主な出荷先:量販店、生協、農協、飲食店、ホテル・旅館

商品紹介

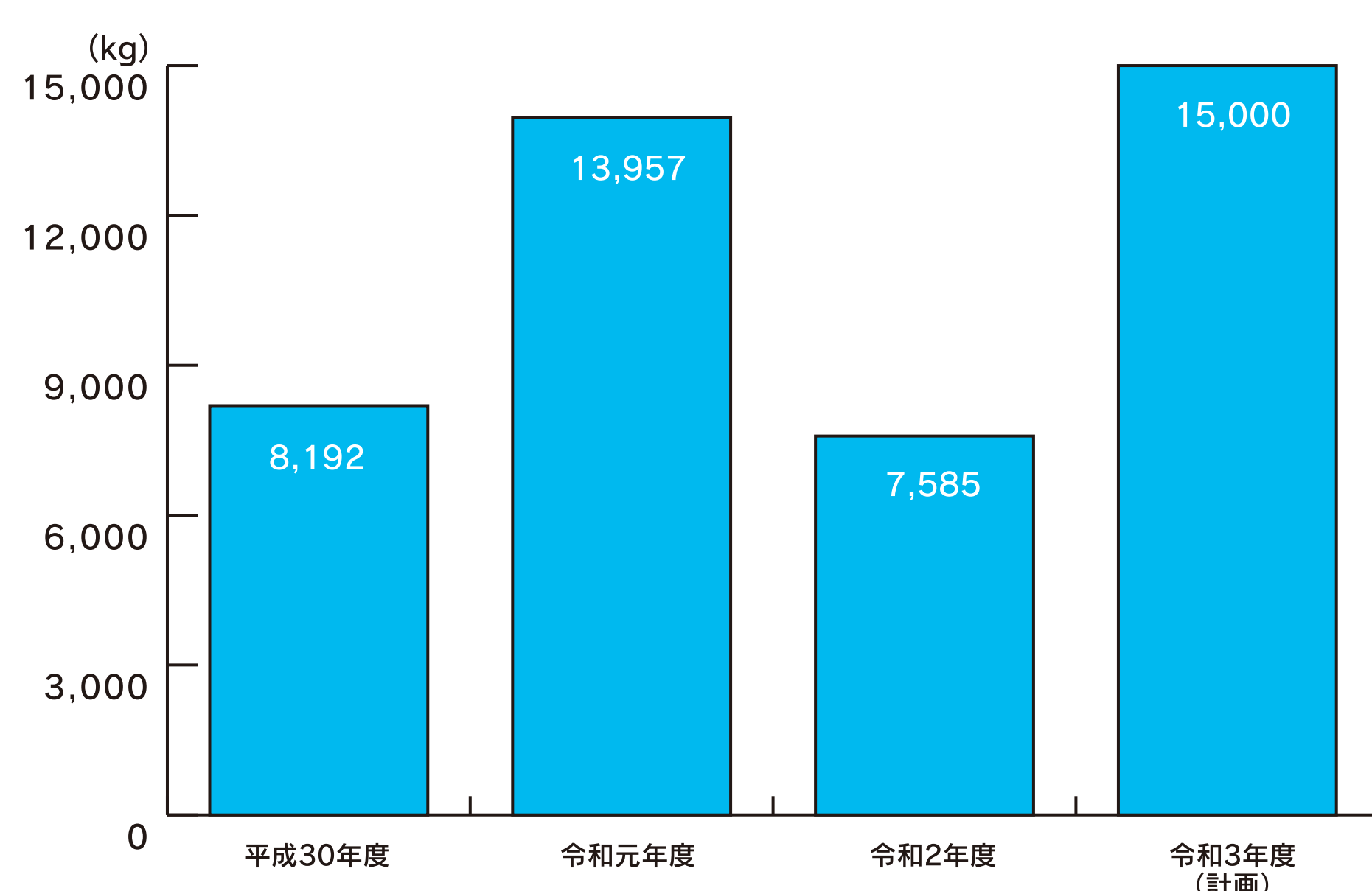


輸出拡大に向けた取り組み

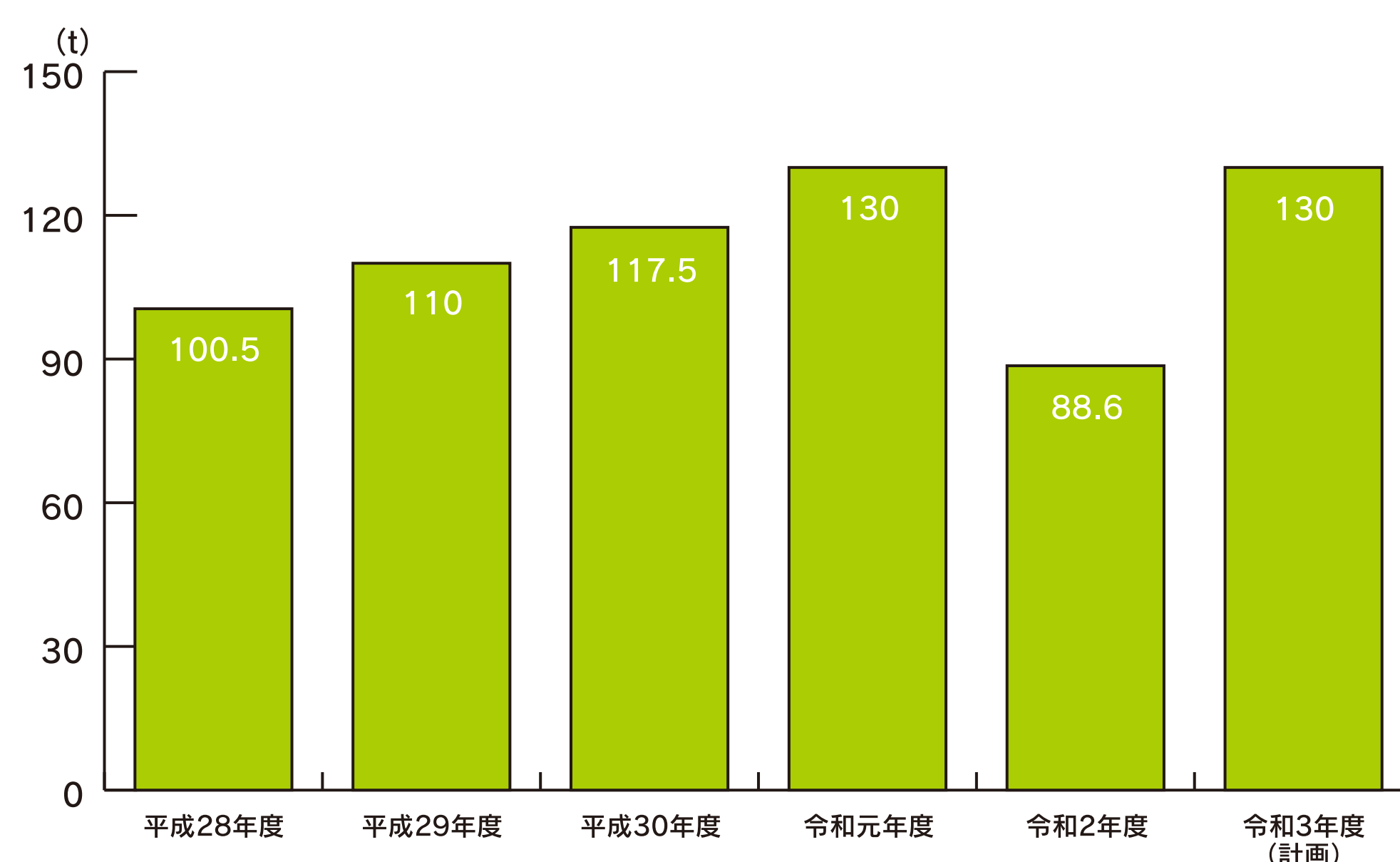
大分県産農畜産物の輸出拡大に向け、中国や香港、
台湾・ベトナム・タイなどの東南アジア諸国に対し、
商談や販促活動を積極的におこなっています。
園芸部門では「日田梨」や「甘太くん」、畜産部門では
「おおいた豊後牛」など大分県を代表するブランド農
畜産物を輸出しています。輸出量は年々増加してお
り、大分県産を含む日本の食材は依然として海外で
高い人気を誇っています。



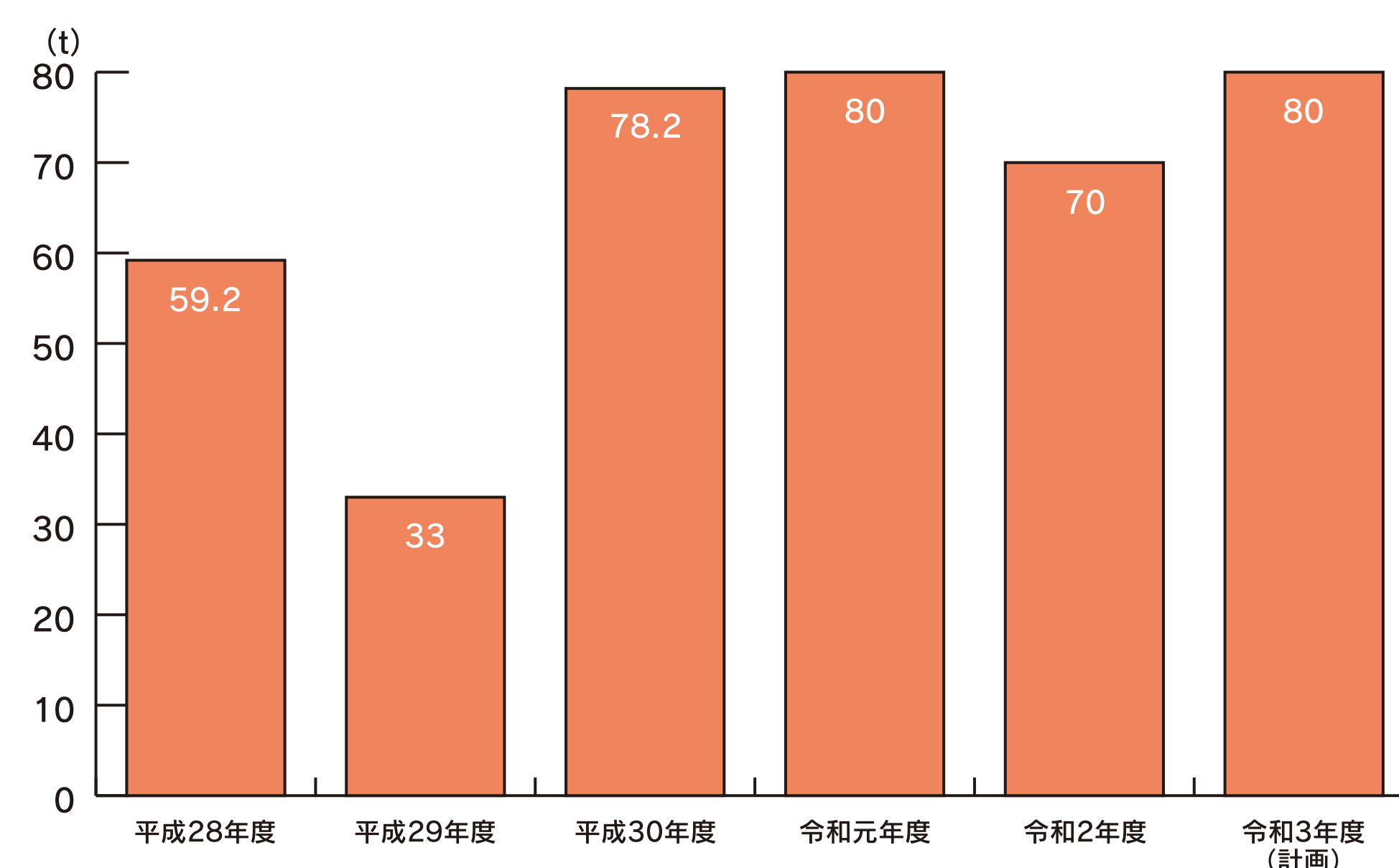
おおいた豊後牛輸出実績



日田梨輸出実績



甘太くん輸出実績



県外事務所の取り組み紹介

【県外事務所の役割】

- (1) 県外消費地や市場のニーズを産地にフィードバックし、生産振興や販売戦略に役立てます。
- (2) 大分県産農産物のPRや店頭販促活動を積極的におこない、販売拡大・販路拡大を目指します。

各事務所の取り組み紹介

東京事務所

JAや県と連携して、関東圏の量
販店で「大分フェア」をおこない
ました。(写真はイオン南関東)



大阪事務所

関西圏の量販店と連携し、大分
県産フェアの開催を通じて、積
極的にPRしています。



福岡事務所

色鮮やかで香りが非常に良い
大分県産スイートピーの販売
会をおこないました。



JA全農おおいたの取り組み

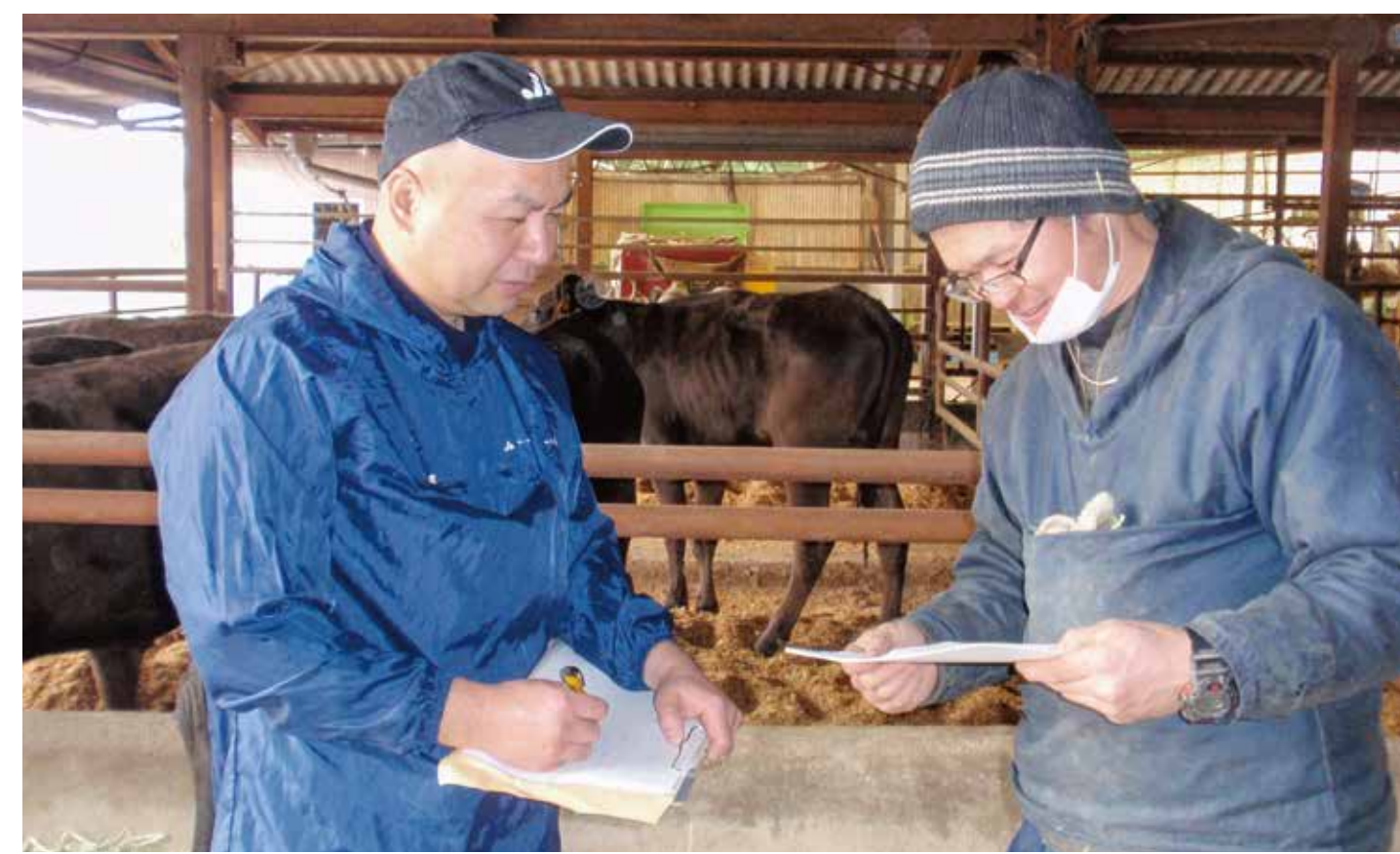
大分県本部畜産事業の取り組み

生産

飼料等の製造・供給

ジェイエイ北九州くみあい飼料(株)

生産者へ飼料の供給をおこなっています。
農家巡回訪問を通じて、家畜の飼育状況にあつた飼料の提案などもおこなっています。



生産基盤の拡大・支援

JAグループ

生産者

畜産課

JAグループは行政と連携して大分県畜産における生産基盤の維持・拡大に取り組んでいます。

JA全農おおいたは市場開設者として、県下3ヶ所の家畜市場で子牛・素牛・成牛の競りを毎月開催しています。

家畜市場

【北部】【玖珠】【豊肥】



JA北九州ファーム(株)

JA全農グループの畜産会社として、徹底した防疫体制と衛生管理で健康な豚や牛を育てています。

【安岐農場】
安全でおいしいSPF豚肉「桜王」を生産・供給しています。

販売・加工

畜産物の集荷・販売事業

産地食肉センター

(株)大分県畜産公社

大分県内唯一の食肉処理施設として、牛と豚の食肉処理加工をおこなっています。
高度な衛生水準で安全・安心な食肉を提供しています。

九州協同食肉(株)

北部九州の食肉流通の重要な拠点として事業をおこなっています。

畜産課・犬飼事務所

販売力強化・
ブランド力向上

県産ブランドの認知度向上に向けたPR活動や販売力強化に取り組んでいます。また、輸出事業や他部門と連携した直販事業など多様な販売チャネルを展開し、新たな販路の開拓をおこなっています。

食肉販売課(ミートセンター)

県本部内に食肉加工場を併設し、カット肉や店頭販売用のパック肉を製造しています。



JA全農ミートフーズ(株)(関連会社)

全国のネットワークを生かして、産地・生産者と卸売店・販売店を結び、牛肉・豚肉や肉加工品の販売をおこなっています。

量販店などの供給に加え消費者向けの直接販売を強化

輸出の強化

小売

県内販売

- Aコープ各店
- コープおおいた各店
- JA直売所
- 量販店



【Aコープくす店リニューアルキャンペーンにて】

県内の販売先と連携して、各種イベントや消費拡大キャンペーンなどを通じて、大分県産肉の販売促進に取り組んでいます。

国内販売

市場購買者

量販店

海外輸出

JA全農
インター
ナショナル(株)

消費者(一般家庭)

海外の顧客

県産ブランド紹介

おおいた豊後牛

美しい霜降りを持ち、とろけるようなやわらかさと風味も豊かな味わいが特長です。

「第11回全国和牛能力共進会」において、種牛の部で日本一(内閣総理大臣賞)を受賞しました。



おおいた豊美牛

自然豊かな大分県で飼育された交雑牛で、きめ細やかな柔らかい肉質、美しい霜降りならではのまろやかなコクと肉本来のうまみが特長です。



桜王

JA北九州ファーム(株)において、厳しい基準で育てられた健康なSPF豚です。ほどよい旨みとコク、もちもちとした、やわらかい食感が特長です。



JA全農おおいたの取り組み

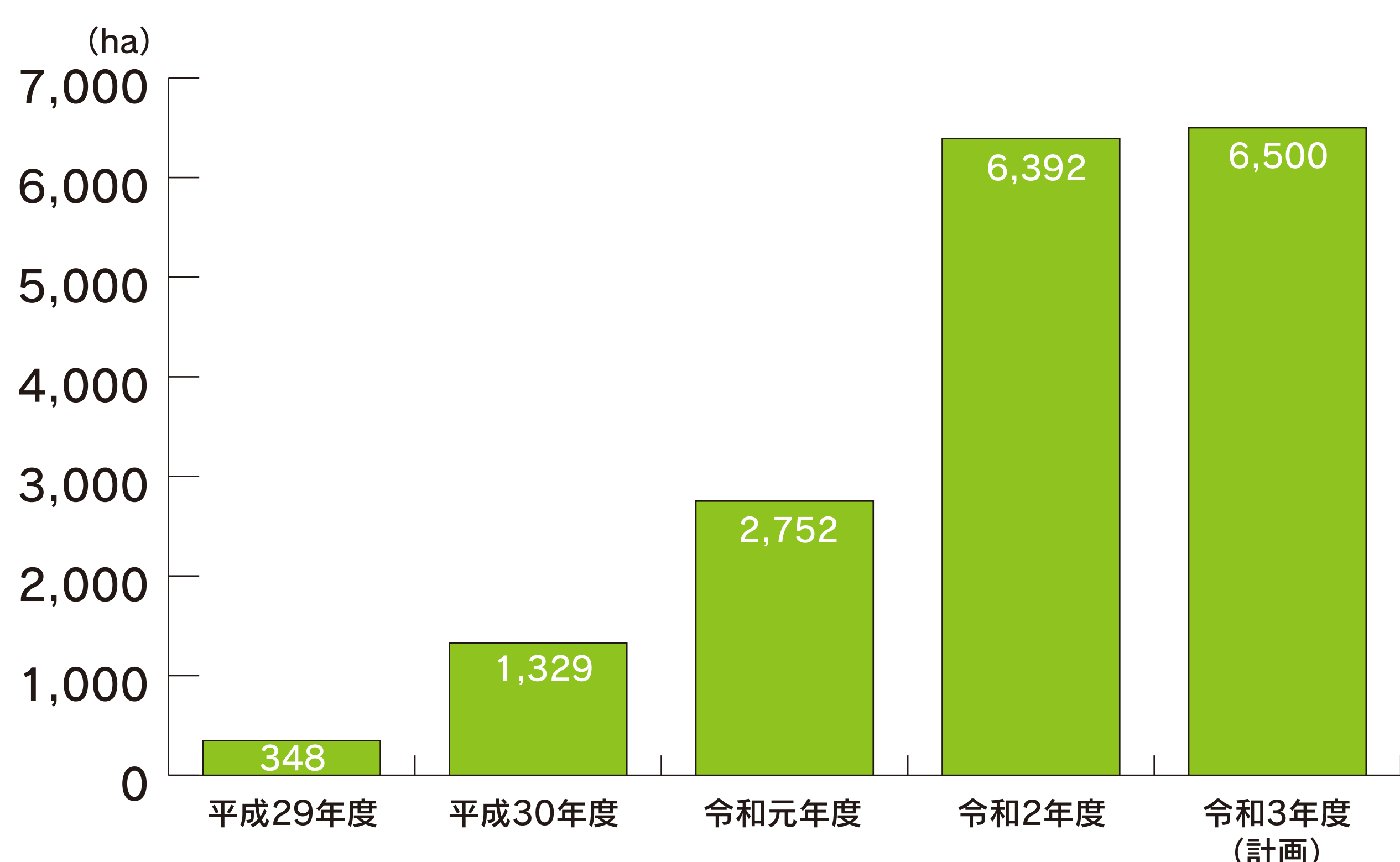
農薬担い手直送規格の普及拡大

担い手直送規格は、平成26年度から普及をはじめ、令和2年度には水稲用箱処理剤3、水稲用除草剤9の計12アイテムまでラインナップを増やしました。

通常規格と比較し、約2～3割のコスト削減効果が期待できることから、令和2年度の普及面積は6,392haまで拡大しています。



農薬担い手直送規格の普及拡大



ピラキサルト剤(ウンカ剤)の普及拡大

ピラキサルト™は、有効成分トリフルメゾピリム(一般名)の通称であり、近年多発しているトビイロウンカをはじめ、各種ウンカ類の防除に有効です。

優れた防除効果と
残効性

3種類のウンカに高い活性があり、
効果が長期間続きます。

新しい作用性

既存薬剤に抵抗性を持つ
ウンカにも有効です。

速やかな効果発現

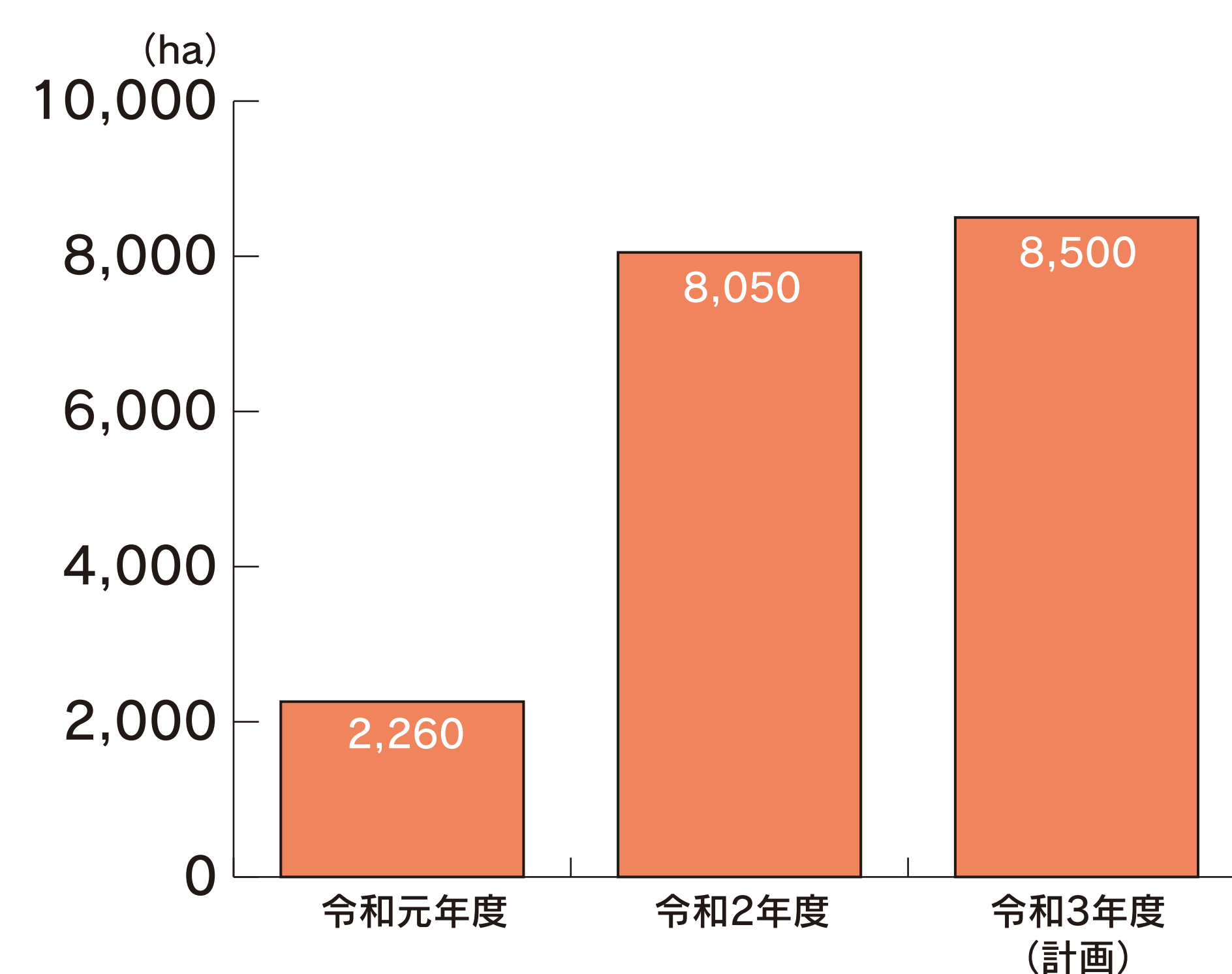
吸汁害はもちろん
ウイルス病の媒介も抑制します。

イネ・環境への
安全性

苗を傷めることなく使用でき、
また有用昆虫への影響がほとんどありません。



ピラキサルト剤(ウンカ剤)の普及拡大



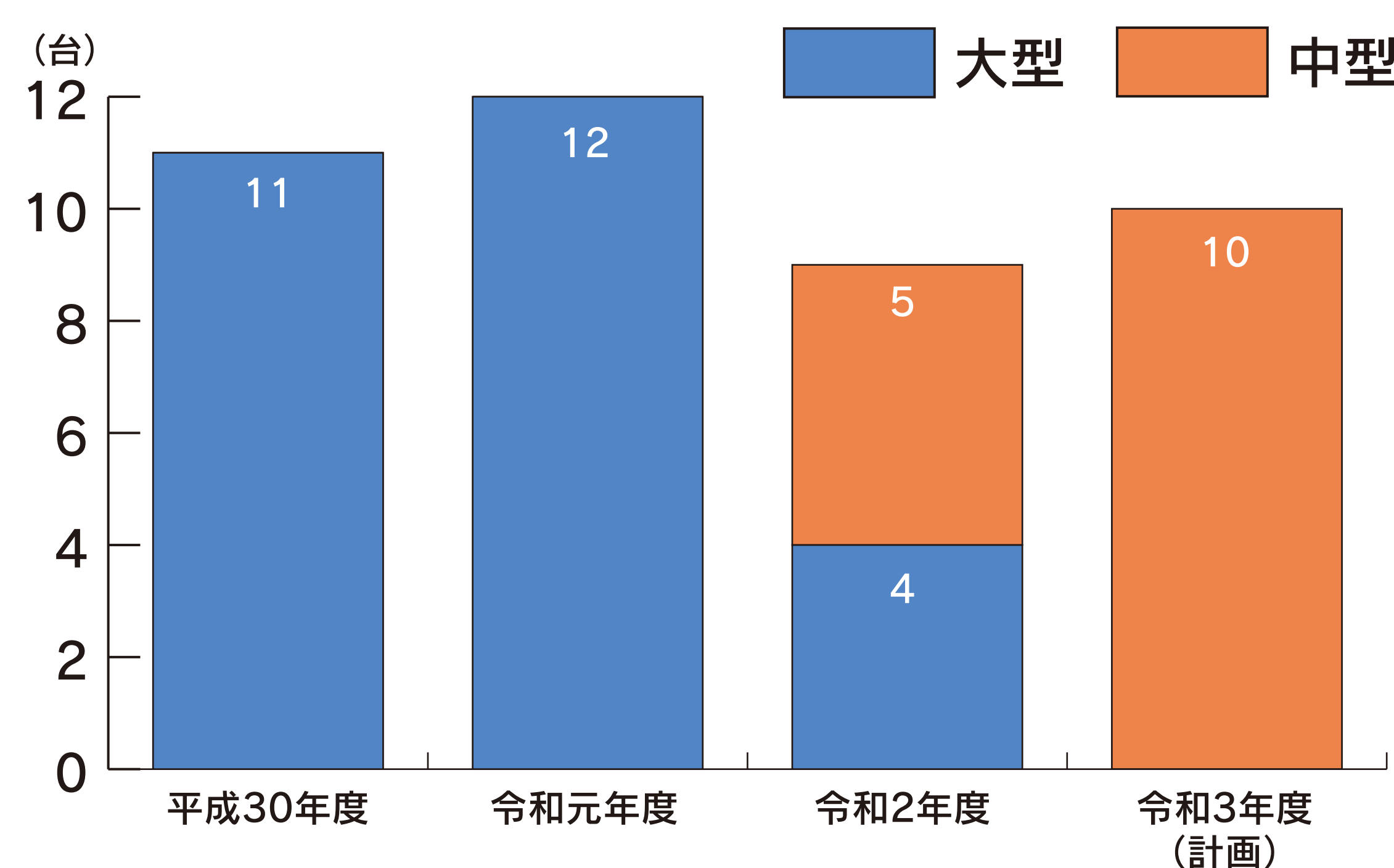
通常規格のほか、大型規格・担い手直送規格も取りそろえ、防除コスト低減にも役立ちます。

共同購入トラクターの推進

全国1万人以上の生産者とJA関係者の声を反映し、搭載する機能を限定、なおかつJAグループが全国から購入数を取りまとめることで製造・流通コストを削減し、結果的に同クラスの価格帯より2～3割、購入価格の引き下げに成功しました。

平成30年10月から販売を開始した60馬力の大型トラクターは好評で、令和2年度から33馬力の中型トラクターも販売を開始しました。

共同購入トラクター販売実績



農機レンタルの普及拡大

購入するには比較的高額な農業機械を1日からレンタルすることができます。稼働日数が限られる場合はコスト削減につながることを期待されます。

レンタル機械は利用者の意見等を反映しながら、管理機などの小型機械からトラクターのような大型機械までラインナップを拡充しています。



農機レンタル
ラインナップ
の一例

野菜移植機(兼用千鳥2条)



クボタトラクター(28馬力)



ハンマーナイフモア(除草機)



施主代行業務の取り組み

JA全農おおいたは「施主代行業務」として、ビニールハウスなどの農業近代化施設建設を希望される施主の皆様が安心して就農・規模拡大等ができる様、設計・施工管理、さらに完成後のアフターサービスまで支援を行っています。

施設の完成までには設計・施工に係る専門的な技術が必要となりますが、担当部署を配置し事業実施体制を整備することで、施主の立場に立つて施設建設業務を行うことが可能です。



JA全農おおいたの取り組み

コープおおいた様との取り組み

JA全農おおいたとコープおおいたは、協同組合間連携の強化に向けた取り組みを実践しています。

「ベリーツフェア」……………

コープおおいたの県内全8店舗で「ベリーツフェア」を初めて開催するなど、生産者組織のJA全農おおいたと消費者組織のコープおおいた、お互いの強みを生かした事業展開に取り組んでいます。



田んぼの生き物調査……………

JA全農おおいたでは毎年、コープおおいたと協力して「田んぼの生き物調査」をおこなっています。子どもたちへの食農教育の一環として、実際に田んぼに入り、田んぼや生きものと触れ合うなかで、「農」・「食」の大切さや水田の持つ多面的機能や生物多様性との関わり、環境保全に果たす役割について伝えています。



JA全農おおいた広報活動

JA全農おおいた公式YouTubeチャンネル

【動画コンテンツ】

①産地・生産者の紹介

生産者による産地や品目のPR動画を投稿します。普段はあまり見る機会が無い生産者の作業風景などもご紹介します。

②農業機械・農業資材の紹介

農業機械や農業資材の取り扱い方法やメンテナンス方法を紹介します。

③大分県産品を使ったレシピの紹介

大分県産農畜産物を使った、美味しくて手軽に作れるレシピを紹介します。



JA全農おおいた公式
YouTubeチャンネルは
こちらから



JA全農おおいた公式Instagram & Facebook

Instagram



account:zennoh_oita

https://www.instagram.com/zennoh_oita/

Facebook



account:Ja全農おおいた
(@zennoh.oita)

<https://www.facebook.com/zennoh.oita/>



地元メディアと連携した広報

地元メディアと連携して、番組内企画を制作するなど、県産品のPR活動を行っております。



カフェ & ダイニング
みのりみのる

CAFE & DINING MINORI MINORU

おすすめメニュー

2品選べるプレート



注)A4サイズで差し替ええます。

大分県産農畜産物の消費拡大を目的に、旬の大分県産食材をふんだんに使ったメニューを提供するカフェ & ダイニング。

季節メニュー



注)A4サイズで差し替ええます。

みのりみのるでは大分県産食材の旬を伝えるイベントも積極的におこなっています。

新米フェア

ベリーツのデザート・飲料4種で
6,274個販売(令和2年度)



ベリーツのタルト



ベリーツのパフェ



ベリーツフェア



ベリーツのスムージー

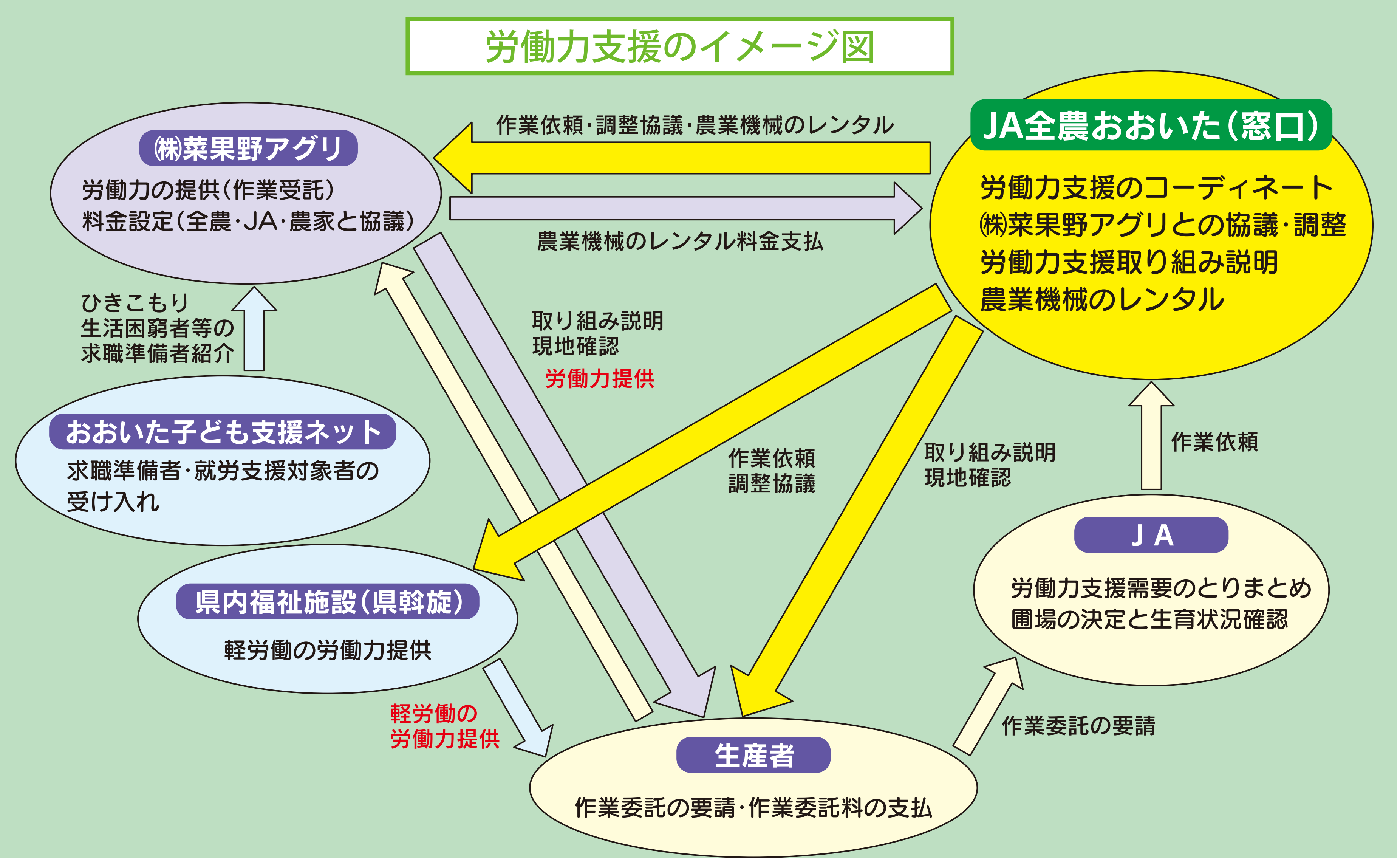
季節のデザートで使用したベリーツは12月～3月で
2,000パック(270g)=540kg使用しました。

JA全農おおいたの取り組み

労働力支援の取り組み

生産者の高齢化等による労働力不足に対応するため、パートナー企業の「(株)菜果野アグリ」と連携して、労働力支援事業に取り組んでいます。平成26年度から本格的に取り組むをはじめ、平成30年度には農作業従事者がのべ20,000人役を超えました。令和元年度からは近隣の福岡県・佐賀県とも連携し、県域を越えたエリアで取り組みを拡大しています。農業に対するハードルを下げ、出来るだけ多くの人に参加してもらえるように、週1日だけでも、希望に沿った形で気軽に参加できる環境を整えています。実際に主婦やフリーターの方の参加も増えています。

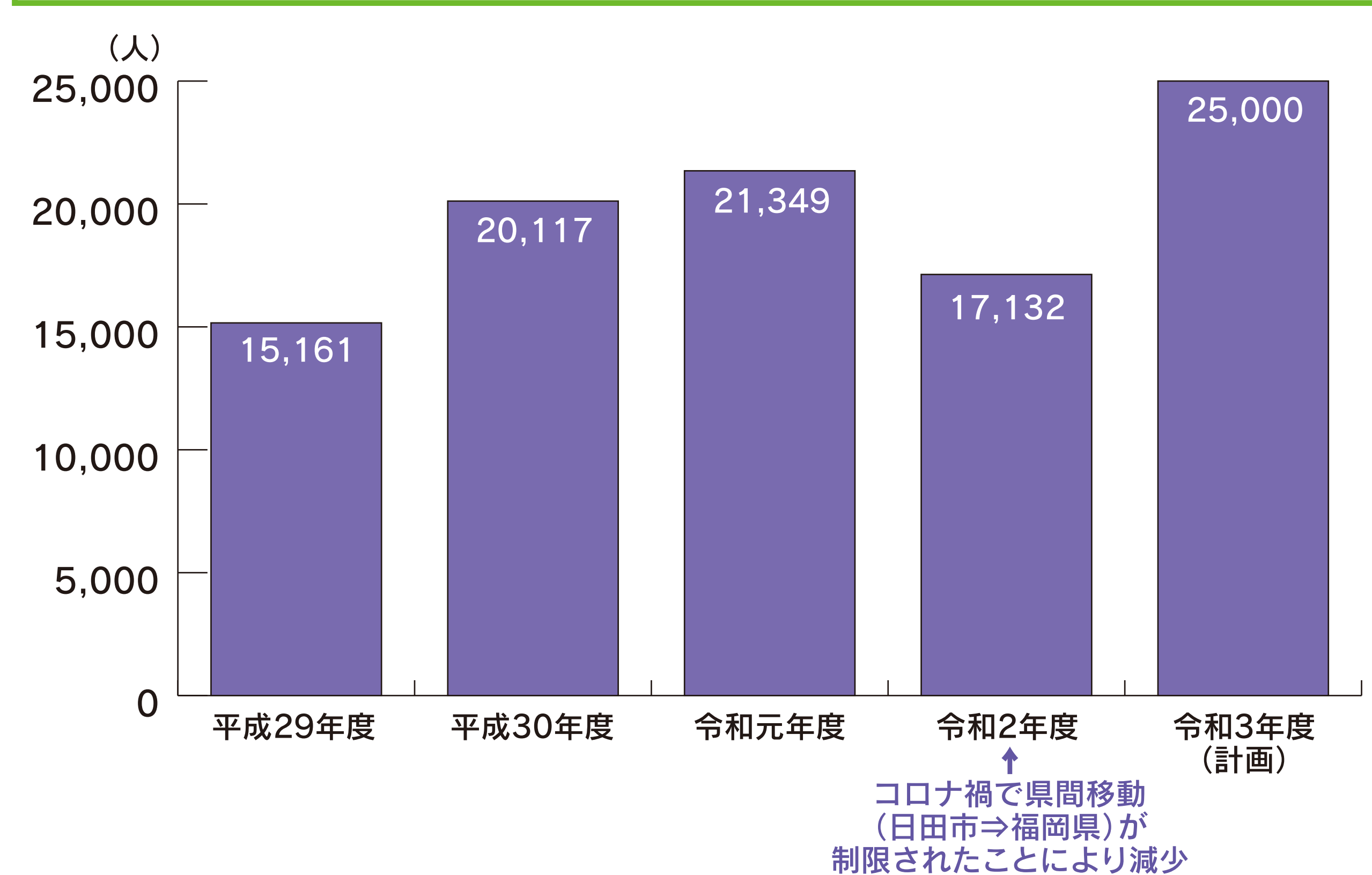
農福連携を含めたトータルでの労働力支援に取り組んでいます



JA全農おおいたは農業現場からの労働力支援の要請に対して、障がい者ができる仕事は県内福祉施設へ、そのほかの仕事は菜果野アグリへ振り分けることにより、障がい者の活躍の場を大きく広げます。



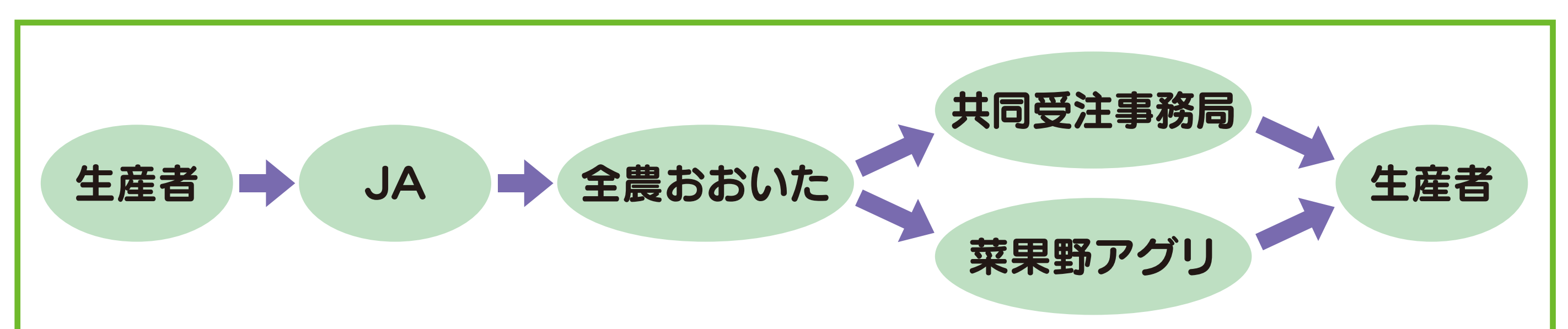
労働力支援 農作業従事者数(延べ人数)



農福連携の取り組み

大分県内の福祉施設と連携して、障害を持った人たちも農業分野で活躍できるように、選果作業や袋詰め等、作業を分担もしくは限定して、障害を持った人でも無理なく農作業に従事できる仕組みを構築しています。

2021年3月には、**ノウフクアワード2020**の審査員特別賞を受賞しました。



作業依頼に対してJA全農おおいたがコーディネートをおこない、作業内容により共同受注事務局及び菜果野アグリと日程調整等の協議をおこない生産者等への支援を実施する。

新規就農者支援の取り組み

大分県立久住高原農業高校との取り組み

次世代を担う農業人材を育成することを目的として、平成29年2月に大分県立久住高原農業高等学校と「農業人材育成プログラム」に係る協定を締結し、各部署による出前授業や実践研修を継続的に実施しています。



キャベツ収穫体験



肥育牛スキャニング研修



コンバインセルフメンテナンス研修

臼杵市アグリ起業学校との取り組み

「臼杵市アグリ起業学校」では、市外から新規就農希望者を募り、生徒は臼杵市野津町の特産品である「ピーマン」の生産や販売について1年を通して学びます。JA全農おおいたも出前授業を通じてカリキュラムの実施に協力しています。



JA全農おおいたの取り組み

企業参入による産地振興の支援



JA全農おおいたは、JAや行政と連携して企業参入による産地振興の支援をおこなっています。

小川香料株式会社(東京)や南信州菓子工房株式会社(長野)が、マリンレモンの産地として知られる佐伯市で国産レモンの生産を目的に、現地法人を立ち上げる際に全面的なバックアップをおこないました。



小川香料株式会社

栽培地: 佐伯市米水津
栽培面積: 約9ヘクタール
植栽数: 約4,000本

南信州菓子工房株式会社

栽培地: 佐伯市蒲江
栽培面積: 約10ヘクタール
植栽数: 約6,000本

加工用かぼす集荷の取り組み

大分県は全国のかぼす生産量の約95%を占めています。大分県特産のかぼすの新たな可能性を求め、加工用かぼすの集荷および果汁の販売、商品開発等に積極的に取り組んでいます。

令和2年度実績: 3,011トン

【補足】内820トンは黄色(完熟)かぼす。お菓子や飲料の原料として需要が高まっています。



職員もかぼすの収穫を手伝います。

全農 × 企業コラボ商品



ジェイエイフーズ おおいた

1972年に果実加工需要の拡大対策事業により操業を開始し、1991年に(株)ジェイエイフーズおおいたとして発足しました。

かぼすをはじめとする柑橘や梨などを使った飲料の製造・販売をおこなっています。

- NB商品の販売数量は202万ケース/年(うち、つぶらなカボス約130万ケース)
- 県内の野菜・果実原料の取扱数量は年間約4,000トン

くわしくはこちら

URL: <https://www.jafoods-oita.co.jp/>

おすすめ商品



つぶらなカボス

かぼすを使用し、飲みやすいさわやかな味に仕上げました。夏みかんのさのう入りです。



かぼすハイボール

やさしいかぼすハイボール
大分県産のかぼす果汁8%使用。アルコール度数8%の本格辛口「かぼすハイボール」、4%の「やさしいかぼすハイボール」の2種類をご用意しています。

新商品



ふるさとの味みかんジュース

大分県産温州みかん果汁100%!
甘さと酸味のバランスが良い美味しいみかんジュースです。

注) A4サイズで差し替えできます。



日田梨のサイダー

日田梨果汁を使用した日田梨のサイダーです。梨のさわやかな香りをいかして、すっきりとした味わいに仕上げました。カロリーオフ、食物繊維入りです。

注) A4サイズで差し替えできます。

新たな事業領域へJA全農おおいたの挑戦

ひっ迫する物流業界 園芸事業における物流改革への挑戦



大分青果センター



冷蔵トレーラー出発式

目 的

近年の物流業界におけるドライバー不足や法規制強化、これに伴う輸送コストの値上がりは農業分野においても大きな課題となっています。
輸送コストの増加は生産者所得に直結する問題と認識し、生産者の所得向上ならびに大分県農業の発展を目的として、令和元年6月に九州東の玄関口・大分県大分市(大在地区)に大分青果センターを設置しました。

機 能

① 積載効率を高めた効率的な物流体制の構築

大分県内のストックポイント機能を発揮し、集出荷トラックの積載効率を高めることで青果物の輸送効率を向上し、運賃コストの増嵩を抑制します。

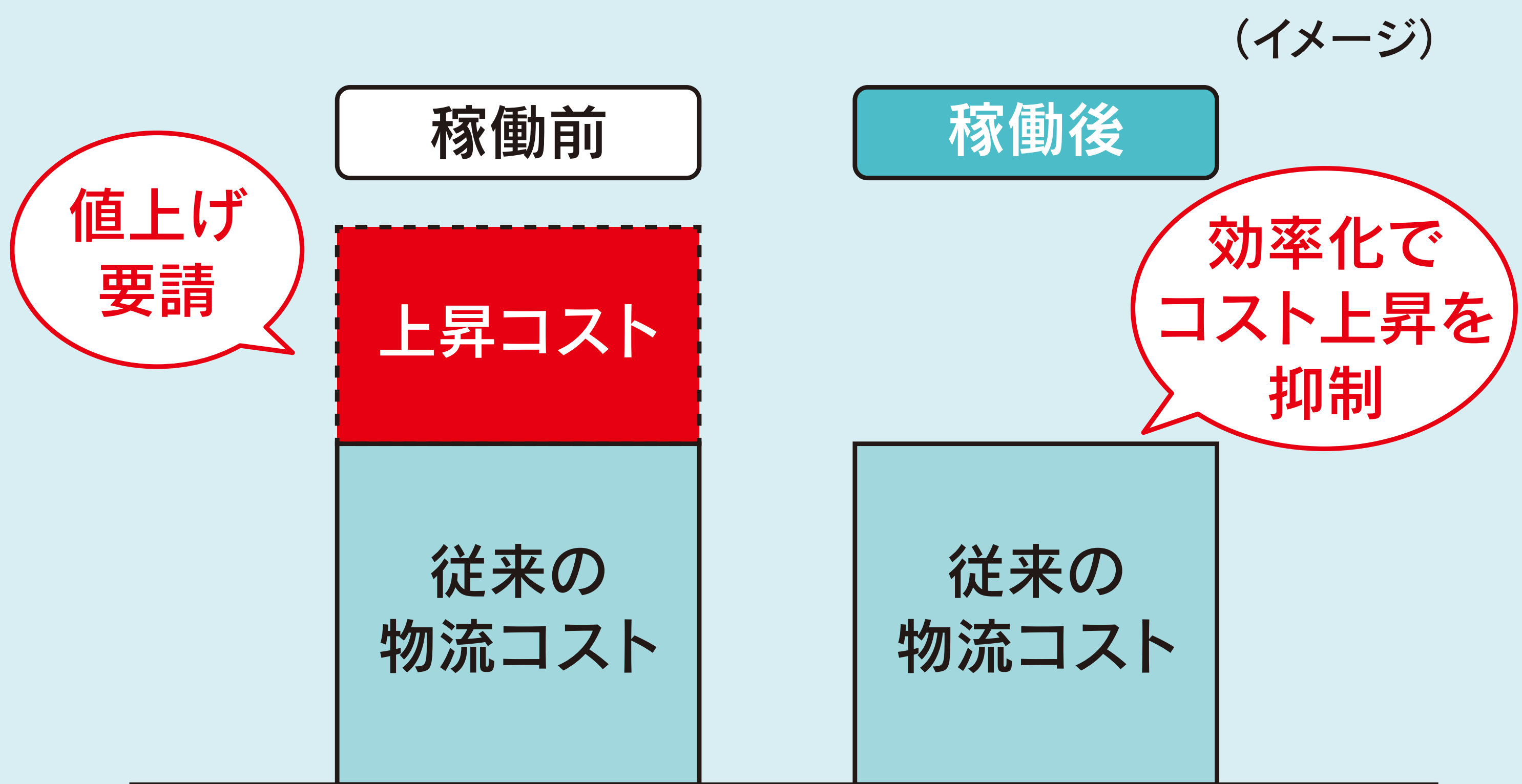
② コールドチェーン化による鮮度保持の実現

当センターでは青果物の鮮度を保つため、集荷後に12時間以上予冷します。また、施設の集荷・出荷口とトラックとの間を隙間無く密着して、外気の流入を防ぐドックシェルター方式を採用することでコールドチェーン化を実現し、青果物を外気に晒さず鮮度を保ったまま消費地に届けることを可能としました。

③ 正確な出荷情報の提供による販売機会の創出

センター稼働に伴い、3日目販売に移行したことで卸売市場に正確な出荷情報を提供することが可能となり、新たな販路の開拓など販売機会の創出につながっています。

「大分青果センター」稼働による運賃抑制効果



市場の声

- 市場への到着時間が早くなり、延着の回数は減り、納品先への配送便を追加で走らせることがなくなった。
- 到着時間が早くなったので、出発する時間の早い取引先トラックに荷物を載せることができ、新しい販売先が増えた。
- 市場に出荷される荷物情報の問い合わせ窓口が明確となり、対応がスムーズになった。
- パレット輸送なので、荷降ろしが早くなった。

令和2年度取扱実績

- 集 荷 先：大分県内約40か所
- 取 扱 数 量：14,732トン
 - ▷県本部取扱いの31%
 - ▷計画比112%
- 出 荷 先：関西・九州の卸売市場を中心に約40か所

施設概要

- 冷 蔵 施 設：1,023㎡(8℃帯:825㎡、3℃帯:198㎡)
- 最大収容能力：最大400パレット収納(1.1m×1.1mパレット利用時)10トン車換算で25台相当
- 集荷・出荷口：6口(ドックシェルター方式を採用)
- 品質維持・管理：(1)集荷した青果物を12時間以上予冷
(2)コールドチェーン化により低温状態のまま輸送

今後の展望

RORO船の活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

物流効率化による輸送コストの削減と環境に配慮した輸送方式への転換(モーダルシフト)を実現するために冷蔵トレーラーを3台導入しました。今後は関東圏への青果物輸送体制の強化も見据え、RORO船の活用も積極的にすすめていく予定です。

パッケージセンターの設置

令和元年6月の本稼働以降、青果センターの集出荷量は増加しており、更なる効率化を実現するため、規模拡大も視野に入れた取り組みが必要となっています。

新たな事業領域へJA全農おおいたの挑戦

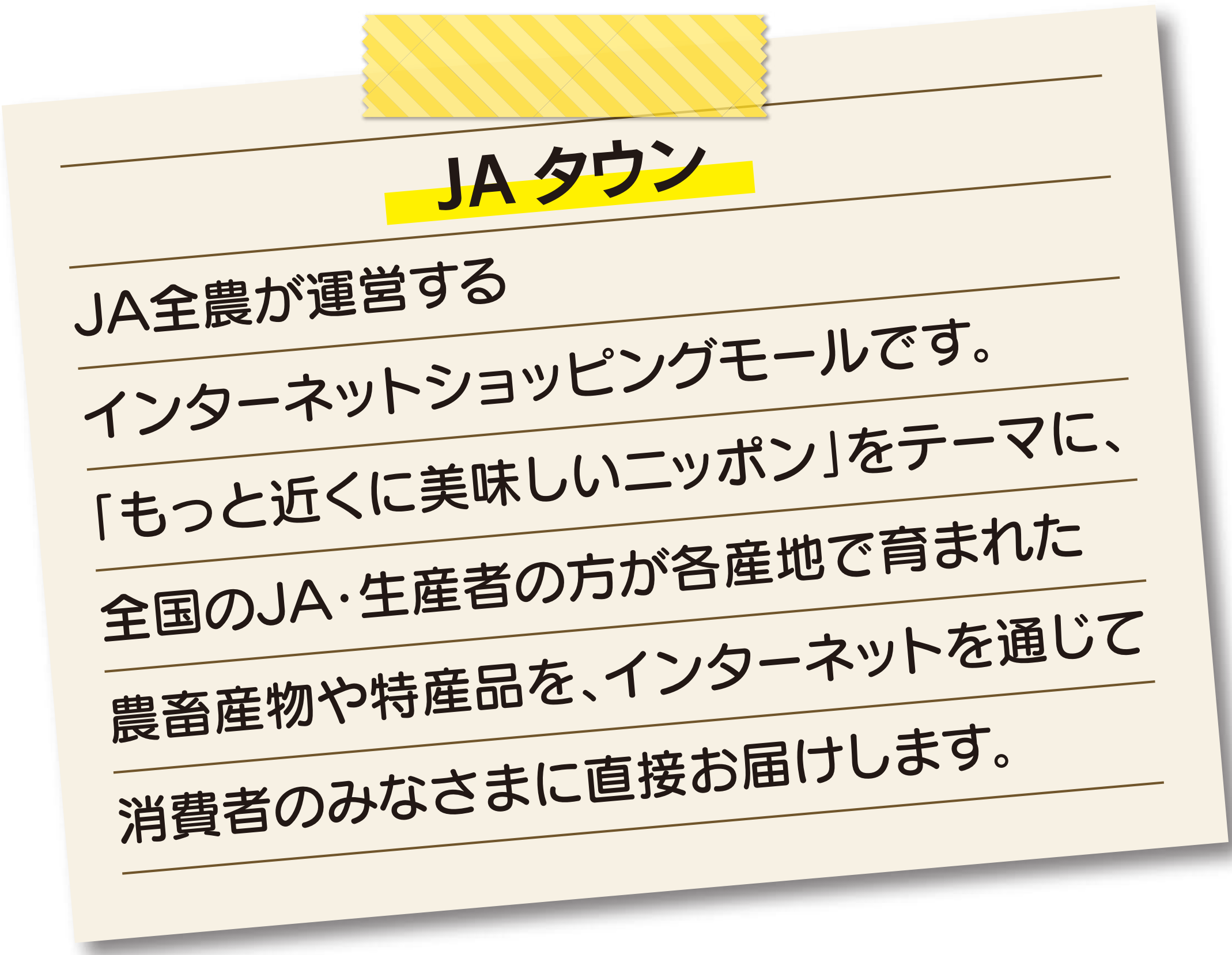
eコマース事業による新たな顧客掘り起こし

JAタウンおおいた

JA全農が運営するインターネットショッピングモール「JAタウン」にJA全農おおいたのショップを2007年から開設しています。

近年のeコマース市場の広がりに対応するため、2015年頃から本格的に取扱アイテムの拡充に取り組み、大分県産農畜産物や加工品などJAグループならではの商品ラインナップも人気となり、「JAタウン」の取扱量は年々増加しています。

現在の取扱アイテム数は「328」（2021年3月時点）となり、今後も県内のJAや生産者、企業と連携して取り扱い商品の拡充を目指します。



JA全農おおいたのeコマース事業を支える「インフラ」

ミートセンター(食肉販売課)

敷地内に食肉加工施設「ミートセンター」があり、大分県産の牛・豚・鶏の精肉加工をおこなっています。これまでの主な取引先であるAコープや生協に加え、近年はJAタウンを中心としたeコマース事業で取り扱う商品作りの役割も担っています。



ギフトセンター(直販開発課)

eコマース事業やギフト事業に欠かすことの出来ない梱包・商品発送などに必要な機能を自前で有しているため、柔軟かつタイムリーな対応を実現することができます。

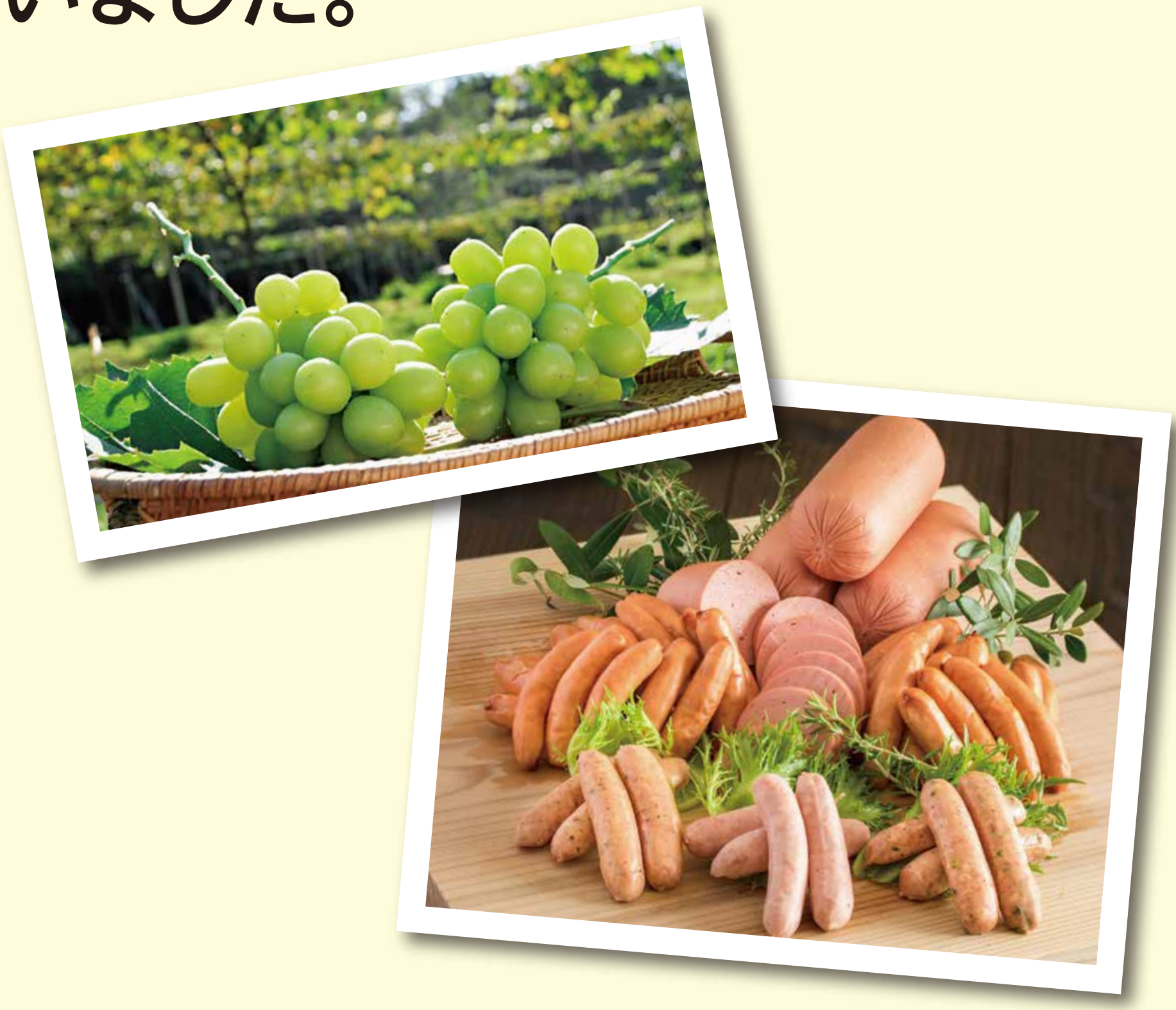


eコマース事業を活用した取り組み紹介

JAタウンの機能を活用し、大分県産品の消費拡大に向けて、常に新たな事業や取り組みに挑戦しています。

ふるさと納税

ふるさと納税の返礼品として、大分県産農畜産物や加工品などの商品を各市町村に提案し、採用された商品(返礼品)を納税者へ配送しています。2020年度においては、国の事業を活用してコロナ禍による生産者支援を目的とし、県産品の消費拡大に向けた取り組みをおこないました。



おんせん県おおいたWEB物産展

大分県の協力のもと、コロナ禍で需要が減少した大分県産農林水産物・県産品の消費拡大を目的に2020年10月から「おんせん県おおいたWEB物産展」を開催しました。和牛や花きに加え県特産の乾しいたけやかぼすぶりなど品目の垣根を越え、大分県産品の消費拡大に取り組みました。



記者説明会を開催

クラウドファンディング

コロナ禍で消費が減少し、厳しい状況にある畜産農家を支援するため、初めてとなるクラウドファンディングに挑戦しました。2020年7月～8月の実施期間中、507名の支援者が集まり、和牛・冠地どりの消費拡大に貢献しました。



取り組み結果